KODZUKA.Gr

2017.10-2018.9



発行日平成31年3月1日



こづか株式会社

環境管理責任者 小林芳明 045-929-1931

有限会社大興資源

環境管理責任者 小塚 静 045-929-4811

作成 環境管理担当者 藤原 徳子

目 次

~こづかグループ(こづか株式会社・有限会社大興資源)のご紹介~

経営理念

市民と企業のエコ活動に協力して、持続可能な循環型社会を目指す。

社内全体で相互に理解し合い、全従業員の幸福を追求する。

こづかグループ サービスのご案内「資源を活かす」

- 製紙原料の買入・販売
- 資源集団回収の推進
- 一般廃棄物収集
- 産業廃棄物収集
- 産業廃棄物中間処理
- 古紙ステーションの設置
- 古布のリサイクル
- 機密文書のリサイクル
- プラスチックリサイクル
- 出張リサイクル講師

廃プラスチック類(発泡スチロール含)処分承ります。

お見積り無料!! お気軽にお問い合わせください。

こづか株式会社ホームページ

有限会社大興資源ホームページ



古紙の搬入お持ち込みご案内

古紙をまとめて処分したいときはどうで、こづか株式会社までお持ち込み下さい。 観入創は近近の事業所ませる景間にご連絡でさい。 では、新聞のけでは、古布・金蘭・再生用プラステックを扱っております。古布は、業界有額の実施あり、 少量の方、一般の方はお中し込み不要の古能力デーションが使和です。

🤝 (有)大興資源 Company Profile ホーム・サービス一覧 会社概要 採用情報 取引先 よくある質問 資源相場 マ CSR活動

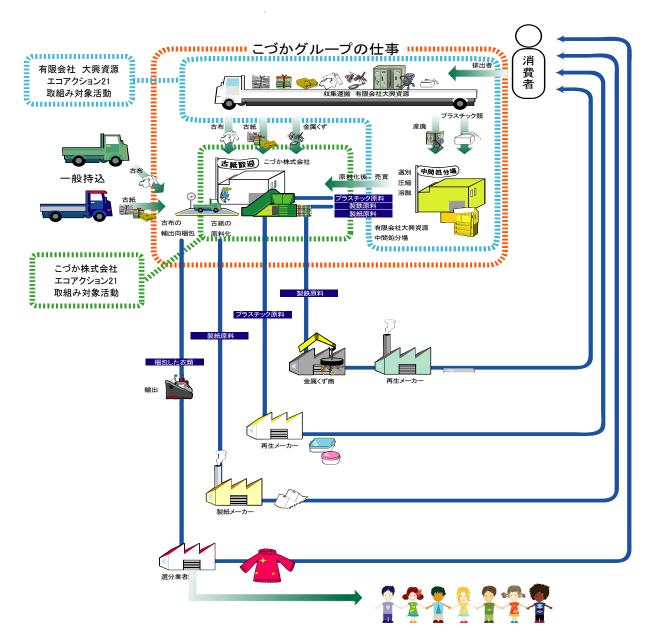
http://www.koduka.co.jp

http://www.taiko-shigen.co.jp

エコアクション21 取り組みの対象活動

◆ こづかグループ(こづか株式会社·有限会社大興資源)コンセプト図

※認証対象範囲:こづか株式会社・有限会社大興資源ともに全組織・全活動



発展途上国の恵まれない地域の衣料

事業概要

					_	
会社名	こづか 株式会社			法人設立	平成4年4月	
代表者名	代表取締役 小塚	敵文	資本金	1,000万円		
事業内容	古紙・パルプ・古れ	F及び紙製品σ)売買、計量証	明事業		
	※古紙の買取料金	金については電	話又はメール	でお問合わせ	ください	
売上高	112	千万円(2017年	年度)			
従業員数	52	人	※令利	11年6月20日	確認 従業員名	簿より
事業年度	10月1日~9	9月30日				
会社所在地	本社	横浜市都筑区	川和町247番	地	2725 m ²	
		TEL 045-929	9-1931			
	横浜北事業所	横浜市都筑区	東方町895番	地	1399m²	
	横浜南事業所	横浜市磯子区	新磯子町10番	ទ 地1	1974m²	
		TEL 045-750	0-5191			
	富士営業所	静岡県富士市	富士岡483-5		1164m²	
		TEL 0545-34	4-0440			
	清水事業所	静岡市清水区	谷津町1丁目:	333-1	1000㎡	
		TEL 0543-69	9-5988			
保有車両	フォークリフト	20 台				
	計量機 台貫	5 台				
	ベーラー	5 台				
					合計	30 台

設備の処理能力

機械 名称		設置場所	能力	備考
東京自動機械	ベーラー1号機	横浜北	120t/8h	
渡辺鉄工	ベーラー1号機	本社	120t/8h	
渡辺鉄工	ベーラー1号機	横浜南	160t/8h	
渡辺鉄工	ベーラー1号機	清水	120t/8h	
ホーライ 改	ベーラー1号機	富士	32t∕8h	

取得認証一覧									
名称	認証機関	認証•登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日				
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構(IPSuS)	0002287	2008.3.14	2018.3.14	2020.3.13				

事業概要

会社名	有限会社 大興資	f源		法人設立 昭和58年6月								
代表者名	代表取締役 猪又	な富美男	資本金	1,000万円								
事業内容	再生資源回収、一	一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬、産業廃棄物中間処分										
売上高	115	千万円		2017	7年度							
従業員数	181	人	※令和	1年6月20日福	確認 従業員名	呂簿より						
事業年度	10月1日~9月30日	1										
会社所在地	本社	横浜市都筑区	区川和町255番	卡地4	2725	m²						
		TEL 045-92	29-4811									
	横浜南営業所	横浜市磯子區	区新磯子町10	番地1	1974	m²						
		TEL 045-75										
	横浜北営業所	横浜市都筑区	区東方町895番	; 地	1399	m²						
	富士営業所	静岡県富士市		<u></u>	1164	m²						
		TEL 0545-	34-0440									
	静岡営業所	静岡市清水区	区谷津町1丁目	328-4	1000	m²						
		TEL 0543-6	69-5996									
	川崎営業所	川崎市高津区	区久末2085-3-	-101								
		TEL 044-7	50-7161									
	厚木営業所	神奈川県厚フ	卞市旭町3−18 -	-9-305								
		TEL 046-40	04-2172									
	渋谷支店	東京都渋谷区	区円山町6-7									
		03-5428-860	9									
 保有車両	2トンパッカー	38 台	1トン平ボディ	2 台	軽トラック	4 台						
	3トンパッカー	9 台	2トン平ボディ	32 台	乗用車	22 台						
	3.5トンパッカー		3トン平ボディ	11 台	中型アーム	1台						
	4トンパッカー	2 台	3.5トン平ボディ	1台	中型パッカー	1台						
	4トンアームロール		4トン平ボディ	1台	合計	135 台						
	4トンウイング	1台	(うちCNG車11台			100 Д						
	4.5トンパッカー	1 台	, , ,	*	日確認 車両リ	ストより						
 処分場の処理能力	4.24t/1時間		7.1.199	, -,, -, -, -,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, 5.,						

取得事業許可一覧

一般廃棄物収集運搬								
地域	許可No	許可年月日	許可期限	備 考				
横浜市	1105	H9.4.1	H32.3.31					
川崎市	0066	H12.10.1	H32.9.30					
東京都 23区内1部	1355	H15.6.1	H33.5.31	渋谷区・目黒区・世田谷区・品川区				
厚木市	219	H18.4.1	H32.3.31					
富士市	I-2-18	H14.11.1	H32.3.31					

産業廃棄物収集運搬								
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目				
東京都	013-00-001023	H8.4.26	H33.4.25	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				
神奈川県	014-02-001023	H4.3.23	H34.3.22	廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず・がれき類				
静岡県	022-01-001023	H4.12.17	H34.12.16	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				
埼玉県	1100001023	H24.7.13	Н34.7.12	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴ ムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び 陶磁器くず・がれき類				
山梨県	1900001023	H23.9.5	Н33.9.4	陶磁器くず・がれき類 汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴ ムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・及び 陶磁器ぐず・がれき類				
千葉県	1200001023	H23.10.28	Н33.10.27	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・金 属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				
茨城県	801001023	H28.9.7	H33.9.6	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				
群馬県	1000001023	H28.7.19	Н33.7.18	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				
栃木県	900001023	H28.8.25	H33.8.24	汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類				

産業廃棄物中間処分									
地域	許可No	許可年月日	許可期限	品目					
横浜市	056-20-001023	H18.6.1	H33.5.31	廃プラスチック類・紙くず・金属くず					
静岡県	022-2200-1023	H19.6.21	H34.6.20	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器 くず・木くず					

取得認証一覧						
名 称	認証機関	認証•登録番号	取得/登録年月日	更新年月日	有効年月日	
エコアクション21	一般財団法人 持続性推進機構(IPSuS)	0001907	2007.10.2	2017.10.2	2019.10.1	
プライバシーマーク	一般財団法人 日本情報経済 社会推進協会(JIPDEC)	10870038(06)	2009.3.12	2019.3.12	2021.3.11	

づかグループ 廃棄物・資源物処理フロー 運 搬 中間処理 再生品 代表的な再生事業者 大王製紙川崎工場 売却 こづか 売却 製紙メーカー 新聞紙 大興資源 新聞用紙 選別•圧縮 売却 売却 レンゴー利根川 大興資源 製紙メーカー 板紙等 雑誌 選別·圧縮 レンゴー利根川 雑がみ 大興資源 製紙メーカー 板紙等 選別·圧縮 売却 レンゴー八潮 段ボール 製紙メーカー 板紙等 大興資源 選別•圧縮 トイレットペー マスコー製紙 大興資源 製紙メーカー 牛乳パック 選別·圧縮 こづか 選別・圧縮 売却 売却 大宮製紙 トイレットペー オフィス古紙 大興資源 製紙メーカ・ こづか 選別・圧縮 ナカノ 売却 売却 海外で古着と 大興資源 輸出商社 古布 してリユース 山一金属 缶・サッシ アルミ缶 大興資源 アルミメーカ・ 選別·圧縮 電気部品等 排 出 売却 売却 富士繁 スチール缶 大興資源 金属くず問屋 製鉄原料 事 選別·圧縮 業 者 丸勝運輸 ビン 空き瓶 大興資源 ビンメーカー 選別·破砕 発 売却 プラスチック ウツミリサイクルシステムズ 大興資源 こづか ペットボトル 圧縮 原料 生 元 大興資源 売却 プラスチック パナケミカル 発泡スチロール 大興資源 こづか 原料 溶融 大興資源 圧縮 売却 プラスチック 亜星商事 再生プラスチック類 大興資源 こづか 原料 大興資源 圧縮 売却 富士繁 大興資源 こづか 製鉄原料 金属くず 大興資源 木くず こづか 燃料 大興資源 破砕 売却 木材チップ 燃料 工場 破砕 大興資源 圧縮 民間産業廃棄 シンシア 発電 廃プラスチック類 大興資源 物処理施設 セメント原材料 熱回収 一般廃棄物 各自治体 大興資源 埋立 (燃やすごみ) 焼却 熱回収 民間産業廃棄 産業廃棄物 大興資源 別紙フロー (混合廃棄物) 物処理施設

こづか株式会社

代表取締役 小塚 敏文

有限会社大興資源

代表取締役 猪又 富美男

環境理念



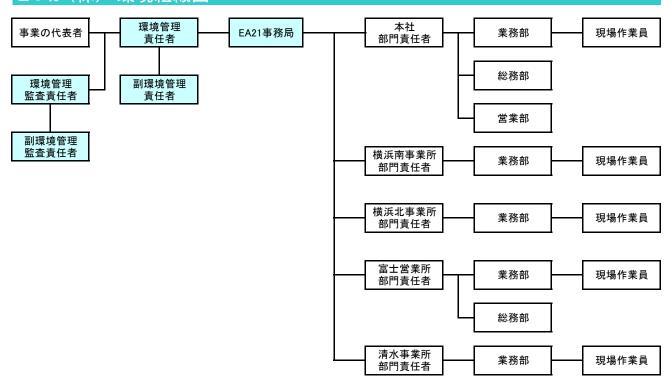
- ①全ての従業員が幸福な未来を実現するため、エコライフを実践する。
- ②市民や企業のエネルギー節約に協力し、率先して省エネ行動をする。
- ③持続可能な循環型社会構築のため、リサイクルを推進する。

【こづかグループ 環境方針】

- 1. 廃棄物再生利用の可能性を追求し、すべての従業員がその情報を共有するよう努めます。
- 2. すべての事業所・営業所において、CO₂削減、節水、省資源に努めます。
- 3. エコカー導入・雨水利用などで、環境への負荷低減を目指します。
- 4. 環境に負荷の少ないグリーン購入に努めます。
- 5. 廃棄物と再生資源の事業に関する法律を遵守します。
- 6. 持続可能な循環型社会構築を目指して啓発と教育活動を行います。
- 7. 本方針を公開し、朝礼、会議、ホームページで周知し、全従業員が、

環境に配慮した行動をするよう努めます。

こづか(株) 環境組織図



各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関わる主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	■環境方針を承認する■環境管理責任者の任命■全体の取り組み状況の評価と見直し■資源の用意
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ。 システム実績を事業の代表者に報告	■システム運用の維持管理 ■マネジメントレビュー、エコアクション事務局会議等招集 ■是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーション窓口	■教育・訓練計画の立案 実施 ■環境活動計画通りの運用の実施と確認 ■取り扱い数量の把握と半期ごとの集計 ※(出庫数量、代納含まず) ■環境への負荷の自己チェック ■システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ
部門責任者	部門システム運用責任者	■環境方針、環境目標、部門目標の周知(掲示)

大興資源 環境組織図 環境管理 責任者 事業の代表者 EA21事務局 本社 従業者 委託事業部 従業者 横浜南 営業所 従業者 副環境管理 責任者 環境管理 監査責任者 横浜エリア 部門責任者 横浜北 営業所 従業者 川崎営業所 従業者 厚木営業所 従業者 渋谷営業所 従業者 富士営業所 部門責任者 従業者 静岡エリア 部門責任者 静岡営業所 部門責任者

各責任者の役割	環境対策に関する責任と権限	環境活動に関わる主な業務内容
事業の代表者	全社の環境経営システムの総責任者	■環境方針を承認する■環境管理責任者の任命■資源の用意■全体の取り組み状況の評価と見直し
環境管理責任者	経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任に関わらず持つ。 システム実績を事業の代表者に報告	■システム運用の維持管理 ■マネジメントレビュー、エコアクション事務局会議 等招集 ■是正処置・予防処置の推進維持
エコアクション21事務局	環境管理責任者の補佐 環境コミュニケーションの窓口	■教育・訓練計画の立案 実施 ■環境活動計画通りの運用の実施と確認 ■取り扱い数量の把握と半期ごとの集計 ※(ドライバー1人あたりの数量又、燃料1Lあたりの走行) ■環境への負荷の自己チェック ■システム実績を環境管理責任者へ報告→事業の代表者へ
部門責任者	部門システム運用責任者	■実施状況の確認と記録の収集

従業者

こづかグループ 環境目標および環境活動計画

中長期目標

- 取扱量 毎月100トン増量し、3年間で3,600トン増量
- CO₂、水、電力 1トンあたり-5%(2011年度比)
- ゼロエミッションへの挑戦-3%
- グリーン購入

2017年度(2017.10-2018.09) 環境目標および活動計画

GR=グループ全体、 KO=こづか株式会社、TA=有限会社大興資源 ■ 一実施予定期間

● 資源物及び廃棄物取扱量 毎月100トン増量し、年間1,200トン増量

活動計画および取組内容	│ 責任者 │ 実施者 │ ̄		宝坛学 2017 2017			2018								
冶製計画のよび収租内台			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業会議・ドライバー会議の実施(GR)	総務部	営業社員												
ブランドカ強化(イベント等への参加)(GR)	総務部	総務部												
セールスドライバーの育成(TA)	営業·業務部	業務部												
ドライバ――人当たりの重量目標の達成(TA)	総務部	総務部												

● CO。水、電力 1トンあたり -3%

	責任者	実施者	2017	2017 2018										
冶割計画のよび 収型内谷	貝讧伯	天旭伯	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
◆ CO ₂ 、電気使用量 削減														
エコドライブ・車両管理(TA)	業務部	ドライバー・営業												
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者												
作業効率化(GR)	業務部	全従業者												
スイッチ・エレベーターの適正管理(GR)	総務部	全従業者												

◆ 水使用量の削減

余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者						
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員						

● 自社廃棄物 -3%

活動計画および取組内容	責任者	実施者	2017 2018											
石刻引 凹のよび 収配内谷	貝吐石	大心石	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者												
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者												
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者												

● グリーン購入について

活動計画活動計画および取組内容	青任者	実施者	2017			2018								
冶製計画冶製計画のよび収益内谷	貝讧伯	天旭伯	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	総務部												
コピー用紙、トイレットペーパー、ティッシュは必ず再生品を利用する(GR)	総務部	全従業者												

部門別環境目標

◆ こづか株式会社

- 本社
- 横浜南事業所
- 横浜北事業所
- 富士営業所
- 清水事業所

部門は左記のとおりとし、 月次内部監査 ALL「A」を目指す

監査項目を14から10に変更、数値も10点満点基準とし、数値を簡略化することで継続的な評価がフィードバックしやすくなった。

監査項目の見直しは1年に1度とする。

現場監査が正確に行なわれるよう専任担当者が抜き打ちで各事業所を監査する。

	内部監査										
			部門名	本社 丿	川和	/	実施	横浜北	事業所	/	実施
		内容	指示	航回許有 A/B/G/D	今回許有 A/B/G/ D	点数	是正処置	航回路板 MB/G/D	今回 許信 ル/B/G/ D	点数	是正処置
1	あいさつ	お客様、地域の 方、 粒内間でのあい さつ	常時								
2	プレス機メンテ ンナンス	•	\$ 8								
3	台貫清掃	含氧の四条	1週間に一度								
4	場内外清掃	場内・工場周辺 の情報	常時								
3	重機メンテナス	直機の特持・ 倍 情など	\$ 8								
е	消火器の点検	配值場所 消費期限	原焼売施時 (半年に一度)								
7	事故·物提	MC2/11/4C	常時								
8	在庫の仕方	例が201920151 高く くずれないよう に	\$ 8								
9	エアコンの 設定温度	設定運戻は適切 か (冬20°C・更2 7°C)	\$ 8								
10	環境方針(目標)は 把握してるか		常時								
					0	7	ランキング		0	7	ランキング

◆ 有限会社 大興資源

- 横浜エリア 1人1日あたり3500kg
- 静岡エリア 1人1日あたり3000kg
- 委託部門 燃費の向上

2017年度 環境目標の実績(こづか株式会社)

1.指標となる取扱量を評価

◆ 取扱量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値	基準年度比	評価
取扱量	50,791トン	46,673トン	51,991トン(+1200)	-4,118トン	×

2.取扱量1トンあたりの排出量や投入量で環境活動、負荷を把握する

(◆下記の数量は取扱量1トンあたりの数字)

◆エネルギー投	◆エネルギー投入量											
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価							
購入電力	121.0MJ	117.8MJ	117.4MJ	97%	0							
化石燃料	47.6MJ	37.0MJ	46.2MJ	78%	0							

◆温室効果ガス	◆温室効果ガス排出量 ※電力二酸化炭素換算係数0.416kg-CO ₂ /kWh											
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価							
取扱量1トン当た りの二酸化炭素 排出量	7.9kg-CO ₂	7.5kg-CO ₂	7.7kg-CO ₂	95%	0							
二酸化炭素排出量	_	350844kg-CO2	_	_	_							
(購入電力)	4.6kg-CO2	5.0kg-CO2	4.5kg-CO2	109%	×							
(化石燃料)	3.3kg-CO2	2.5kg-CO2	3.2kg-CO2	76%	0							

◆水資源投入量	<u>1</u>				
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値	基準年度比	評価
上水	0.06m³	0.04m³	0.06m³	67%	©

廃棄物の排出量									
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値	基準年度比	評価				
熱回収	106トン	85トン	103トン		0				

参考:事業規模の推移

活動規模	単位	2017年	2016年	2015年
中間処理量	t	46673	48044	47606
売上高	百万円	1120	1366	1179
従業員	人	51	47	47
床面積	m^2	12491	12491	12491

環境への負荷の把握(有限会社大興資源)

1.指標となる取扱量を評価

◆ 取扱量					
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値	基準年度比	評価
取扱量	53,849トン	51,910トン	55049トン(+1200)	-1,939トン	×

- 2.取扱量1トンあたりの排出量や投入量で環境活動、負荷を把握する
- (◆下記の数量は取扱量1トンあたりの数字)

※2011年度より電気・水道について、こづかと大興資源で共同使用している社屋では大興資源がこづかに電気代・水道代を含めて賃料として支払うこととし、負荷はこづかで負担する。

	◆エネルギー投	入量				
評価項	評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
	化石燃料	446.8MJ	486.1MJ	433.7MJ	109%	Δ

◆温室効果ガス	排出量 ※電力	」二酸化炭素換算係数	女0.416kg-CO ₂ /kWh		
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値(-3%)	基準年度比	評価
取扱量1トン当 たりの二酸化炭 素排出量	29.2g-CO ₂	37.2kg-CO ₂	28.3kg-CO ₂	137%	×
二酸化炭素排出量	-	1932187kg-CO2	-	-	-
(化石燃料)	22.6g-CO2	32.7kg-CO2	21.9kg-CO2	154%	×

廃棄物の排出	出量				
評価項目	評価基準数値 (2011年度)	2017年度	目標値	基準年度比	評価
熱回収	106トン	84.7トン	103トン		0

参考・事業規模の推移

<u> 多名: 争未况保</u>	<u> グ1世代タ</u>			
活動規模	単位	2017年	2016年	2015年
一般廃棄物·産廃 収集運搬処理量	t	48,583	47,220	48,886
産廃中間処分処 理量	t	3327	351	266
売上高	百万円	1,155	1,128	1,040
従業員		188	184	177
床面積	m²	12,491	12,491	12,491

2017年度 活動計画・取組およびその評価

● 資源物、廃棄物 取扱量 毎月100トン増量

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の 計画
定例 営業会議の実施(GR)	営業本部長	営業社員	営業会議の役員参加	0	
営業ツールを充実させるための検討(GR)	総務部	営業社員	営業企画会議の実施	0	
セールスドライバーの育成(TA)	営業·業務部	業務部	マニュアル化、ルール作り	×	
セミナーへの参加(GR)	総務部	営業社員	情報の収集、担当者が参加	Δ	€ Nt
SEO対策(GR)	総務部	総務部	ホームページ管理会社との定期打ち合わせ	0	継続
ブランドカ強化(まつり、イベントへの参加)(GR)	総務部	総務部	地域のイベントに参加(磯子まつり・都筑区民まつり)	0	196
施設見学会(GR)	総務部	総務部	地域・社会にひらかれた企業、信頼確保	Δ	
ドライバー一人当たりの回収量3500kgを達成しているか(TA)	総務部	総務部	回収量実績の確認	Δ	
環境省Fun To Share活動への参加	総務部	総務部	エコドライブ宣言	×	

● CO₂ 水、電力 1トンあたり -3%

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の 計画
◆ CO ₂ 、電気使用量 削減					
エコドライブの実践(TA)	営業部、業務部	営業、ドライバー	ドライバーマニュアル、考課表による技能評価、社内講習会	0	
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	全従業者	社内掲示、温度設定は冷房時27℃、暖房時20℃に設定	0	
作業効率化(GR)	業務部	全従業者	業務会議による配車見直し	0	
風力・太陽光発電パネルの設置(GR)	役員	役員	費用の算定、効果の検討	×	
低燃費車への変更の検討(TA)	役員	役員	燃費の試算	0	継
スイッチの適正管理(GR)	部門責任者	全従業者	スイッチの配置図作成、掲示、消灯点検	Δ	続
定時帰社の推奨(週1回実施)(GR)	部門責任者	全従業者	定時帰社の呼びかけを掲示板・社内HPにて業務開始前に通知	Δ	
業務日報による車両管理推進	営業部、業務部	営業、ドライバー	オイル交換、フィルター清掃、タイヤの空気圧	Δ	
デマンド監視装置の活用	部門責任者	全従業者	デマンド値の管理、不使用電源の停止	0	
社内エアコンフィルターの定期清掃	総務部	総務部	実施月の設定	0	
クールビズ・ウォームビズの推進	部門責任者	全従業者	機能性の高い衣類の着用	0	
◆ 水使用量の削減					
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA21事務局	全従業者	環境への負荷の自己チェック毎月実施	Δ	継
雨水の有効利用の検討(GR)	役員	役員	トイレ洗浄水の雨水利用、洗車・清掃への利用の検討	×	続

● 自社廃棄物 -3%

活動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の 計画
裏紙のメモ使用(GR)	部門責任者	全従業者	朝礼などで呼びかけ・教育内容に盛り込む	0	
スキャナー・両面印刷の励行(GR)	部門責任者	全従業者	会議資料の両面印刷による紙使用量削減	0	
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	部門責任者	全従業者	朝礼などで呼びかけ・教育内容に盛り込む	0	継
コピー用紙使用量把握指標の作成	総務部	総務部	指標作成、管理、通知	Δ	続
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	全従業者	会議等での使用。資料削減	0	
軍手の再利用(GR)	業務部	業務部	洗濯·再利用	0	

● グリーン購入

汪	動計画	責任者	実施者	適用される手順またはすべき取り組み	評価	次年度の 計画
	CNG天然ガス車への変更(TA)	役員	役員	費用の算定、比較	Δ	€hir
Ī	印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	総務部	購買稟議システムの運用	0	継続
	GPN推奨 エコ商品ねっとより購入	総務部	総務部	具体的な購入品目数の目標設定	0	170

2017年度 環境目標に対する取組の評価

1.資源物、廃棄物、取扱量 100トン/月

前半期

後半期

活動内容	実施確認者	2017			2018								
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	天旭唯祕石	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例 営業会議の実施(GR)	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業ツールを充実させるための検討(GR)	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セールスドライバーの育成(TA)	総務部	×					Δ	Δ					×
セミナーへの参加(GR)	総務部	0	0	Δ	Δ			0		0		Δ	0
SEO対策(GR)	総務部				0		0		0		0		0
ブランドカ強化 まつり、イベントへの参加(GR)	総務部		0										0
ドライバ――人当たりの回収量3500kgを達成しているか(TA)	総務部			0	Δ		0	Δ			×		

2.CO₂、水、電気 1トンあたり -3%

活動内容	実施確認者	2017			2018								
冶 期內谷	天旭唯祕有	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エコドライブの実践(TA)	業務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エアコン温度設定(GR)	部門責任者	0	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	0	Δ	Δ
作業効率化(GR)	業務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風力・太陽光発電パネルの設置	EA事務局							×					Δ
低燃費車への変更の検討(GR)	役員						0						0
定時帰社の推奨(週1回実施)	部門責任者	0		×			Δ			0			×
余分な開放がないかのチェック(GR)	EA事務局			Δ			0			Δ			0
雨水の有効利用の検討(GR)	役員						×						Δ
デマンド監視装置の活用(GR)	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クールビズ・ウォームビズの推進	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3.自社廃棄物 -3%

活動内容	実施確認者	2017			2018								
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	天心唯祕石	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
裏紙のメモ使用(GR)	部門責任者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スキャナー、両面印刷の励行(GR)	部門責任者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社内HPおよび社内メール利用による紙利用の削減(GR)	EA事務局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクターやモニターの活用	部門責任者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軍手の再利用(GR)	業務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4.グリーン購入について

> - > - > - > - > - > - > - > - > - >													
活動内容	中华体现书	2017			2018								
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
CNG天然ガス車への変更の検討(TA)	役員				Δ	0	0						
印刷に出すチラシは再生紙を指定する(GR)	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境に配慮した製品を優先して使用する(GR)	総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	О	0

◆2017年度評価

・昨年度定時帰社の推奨という目標に対して従業員への周知が徹底されていなかったためなかなか良い評価へとつながらなかった。定時帰社の意味を再確認し、短時間でより効率的な仕事を行い、プライベートの充実を図ることでまた仕事へのモチベーションを上げるという好循環が理解されたことで部署ごとに努力がみられるようになった。

しかし、社会情勢による極度の人員不足の影響を受け結果には結びつかなかった。

- ・毎年度同じ取り組みが同じ結果になっている。実現可能な取り組みなのか、再度事務局で確認するまた何をどれくらいいつまでに、といった期限を具体化し達成度がより実感されるよう設定すること。 達成計画を各部署が考える際頻度や手段、活用ツールなど、あらゆる角度から具体化していく。
- ・使用する電力と紙の削減を中心に環境目標を立ててきたが限界がきている。
- 維持・継続していくことを目標とする。そのために引き続きデマンド監視装置を活用する。デマンドについて認識が薄いので従業員に周知することを教育に含む必要があると思われる。

教育・訓練の計画・実施

◆ こづか株式会社

1.教育内容

各部門では毎朝の朝礼を実施、K.Y.T(危険予知トレーニング)を実施。

フォークオペレーターはフォーク作業10カ条を読み上げる。

機械、重機の無駄なアイドリング運転の確認なども含め、エコアクション21の活動内容を確認する。

また、毎年3月・9月には部門別に消防訓練を実施し、実際の火災を想定し、緊急事態対応規定の実用性を確認する。毎月の定例会議では、環境管理責任者より、エコアクション21の活動内容について、環境目標の確認、必要な活動計画などを教育している。監査報告書を回覧している。

記録は現場作業員議事録

2.教育•訓練計画

内容	対象	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
環境に関する教育	横浜エリア 現場作業員												
環境に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア												
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア												

半期に1度工場に措ける防災訓練やリスクアセスメントを実施している。 また毎月、環境負荷低減や省資源などの教育活動を会議の議題に取り入れている。

リスクアセスメントの内容

- 危険箇所の報告
- 新たな機械の導入による適切な使い方の指導
- ・工場内で起った事故・怪我の周知改善

消火器の点検

- ・年に2回 消火器の場所の確認 消費期限の確認
- ・来期は設備業者に依頼し消火器を使った訓練 避難経路の確認を予定している

安全講習会

今期はコマツフォークリフトを講師に迎え安全講習会を行った。

- ・フォークリフトの安全な使用方法
- ·産業別労働災害発生状況
- ・フォークリフトによる死亡事故の型別発生状況
- ・ヒヤリハット・フォークリフトの特性からくる潜在危険性について
- 来期に実技講習を行なう予定





環境上の事故及び緊急事態を想定して訓練を実施し、その対応策を緊急事態対応規程を基に有効性を検証し、問題ないことを確認した。

◆ 有限会社 大興資源

1.教育内容

年一度、全従業員を対象とし環境に関する教育を行い、教育受講アンケートを回収し次回の教育内容への参考とする。 EA21のガイドラインについて

現在問題になっているプラスチックごみによる環境汚染について

持続可能な社会作りのためにできること

エコドライブのすすめ

随時、ドライバーを対象として交通安全講習会を実施する。

緊急時の訓練として年1回訓練を行う。

2.教育•訓練計画

内容	対象	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
環境に関する教育	横浜エリア・ 静岡エリア												
緊急事態への 対応訓練	横浜エリア・ 静岡エリア												

[安全運転講習会]

ISUZUより講師を招き、本社で講習会を行った。

今回は講義形式で様々な映像を使い、より実践に基づいた分かりやすいものであった。

1部ではトラックの安全走行から始まり、バック事故防止について基本事項の再確認を行った。 危険予測訓練ビデオを使い、事故が起こりやすい代表的な6つのケースについて学んだ。





バック事故の起こり得る原因として バックミラーとサイドミラーの視覚と 死角を確認した。

2部では歩行者事故(高齢者の行動特性と事故パターン)、

生活道路における事故防止、 交通事故とリスクマネジメント、 エコドライブのポイントについて学んだ。

日常的に最も発生頻度が高いリスクが 交通事故であり、それが企業活動に与える 影響は非常に大きく、損害賠償金などの 直接的な損失は、対人賠償では 1件で億単位となるケースも珍しく なくなった。

安全運転管理をリスクマネジメントの トップ事項と捉え、積極的に 交通事故防止に取り組むこと。

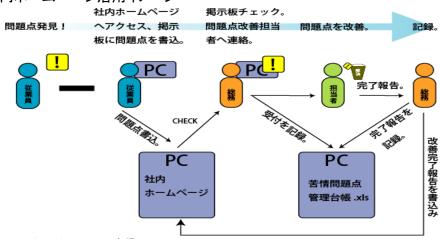
以上のことを従業員一人一人が 再確認し常に緊張感を持って業務に あたることの意識づけとなった。

環境上の事故及び緊急事態を想定して訓練を実施し、その対応策を緊急事態対応 規程を基に有効性を検証し、問題ないこと を確認した。

環境コミュニケーション

- 1.内部コミュニケーションの手段
 - ① 社内ホームページの開設・活用
 - ② 朝礼の実施

社内ホームページ活用イメージ



- 2.外部コミュニケーションの手段
 - ① ホームページの開設・活用→環境方針、活動レポートの公開・苦情受付窓口ホームページ上から、環境に関する苦情、問い合わせを受ける。
 - ② 各種イベントの参加 毎年9月→磯子まつり 毎年11月→都筑区民まつり

リサイクルについて(ペットボトルなど)の知識を尋ねるアンケートを行った。 アルミ付パックの回収方法や町内会での資源回収の分別の仕方など 積極的に質問があり、市民の方の意識が年々向上していることが感じられた。

磯子まつり(平成30年9月30日)

都筑区民まつり(平成30年11月3日)





- ③ 環境活動レポートの作成、配布(各行政機関、取引先など)
- ④ 見学会の開催

環境関連法規のとりまとめと遵守評価

法規等の名称	規制概要	該当する条項等	規制詳細	規制の適用	遵守評価				
	况则似女	政コリる木項寺	万元 申リロ 十 小山	が元中リング地方	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2018年9月	
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	廃棄物処理	第7条 第14条 第15条 第12条	排出事業者責任 契約書の締結 マニフェストの発行 施設の管理	廃棄物排出時 業務受注時 廃棄物排出時 中間処分場運営	0	0	0	0	
各事業所所在地の 廃棄物に関わる条例 (横浜市廃棄物等の減量 化、資源化及び適正処理 等に関する条例 等)	廃棄物処理		排出事業者責任 適正な処理	廃棄物排出時	0	0	0	0	
道路交通法	道路の危険防止 交通の安全		道路の交通方法 運転免許 運転者の義務	道路通行時	0	0	0	0	
家電リサイクル法	特定家庭用機器の リサイクル	第6条		業務受注時 廃棄時	0	0	0	0	
消防法	指定可燃物の保管	第21条の4	消防設備の設置状況	商品の保管時	0	0	0	0	
許可取得の各行政条例	各焼却施設への搬入 廃棄物の引き取り		不適合物の搬入 不適合物の収集	焼却施設搬入時 廃棄物の収集時	0	0	0	0	
自動車NOX・PM法	ディーゼル自動車への規制	第4条 第12条 第17条	都市部への乗り入れ	車両購入時車検時	0	0	0	0	
浄化槽法	清掃·保守点検 水質検査 定期検査	第5条 第8~10条 第11条	定期検査	富士営業所 WC	0	0	0	0	
グリーン購入法	再生品使用の促進	第5条		備品·消耗品購入 時	0	0	0	0	
神奈川県生活環境の 保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	0	0	0	0	
横浜市生活環境の 保全等に関する条例	公害の防止 環境負荷の低減			事業全般	0	0	0	0	
省工ネ法 ※1	エネルギーの使用の 合理化	第6条 第12条の2	(使用量定期報告·中長期計画作成)	廃棄物収集運搬 中間処理	0	0	0	0	
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	処理業者による 不適正な処理の防止		産業廃棄物の 処理状況の報告等	中間処理	0	0	0	0	
貨物自動車運送事業法	輸送の安全確保 事業の健全な発達			廃棄物収集運搬	0	0	0	0	
フロン排出抑制法	業務用機器の冷媒適正管 理(使用時漏洩の削減)	第16条 管理者判断 基準2	定期点検・不調時点検・充 填 漏えい量報告・充填量報 告	事業全般			0	0	

^{※1} 有限会社大興資源は対象事業者外

環境関連法規のとりまとめと遵守評価

こりえる違反事項		訴訟・違反の有無							
起こりたの達及事項	2016年3月	2016年9月	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2018年9月			
〇環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反の有無	無	無	無	無	無	無			
〇関係機関からの指摘	無	無	無	無	無	無			
○訴訟の有無	無	無	無	無	無	無			

環境に関する外部からの苦情・相談など		苦情・相談の有無							
		2016年9月	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2018年9月			
○環境に関する外部からの苦情・相談	無	無	無	無	無	無			

代表者による全体の評価と見直し(こづか株式会社)

 見直し実施日	2019年2月20日	見直し者 代表取締役 小塚 敏文						
	2010 T2/120 H							
収集した資料	① 2017年度環境活動レポート							
	① 環境目標の実績	④ 前回の指示事項の対応状況						
評価内容	② 活動計画・取組	⑤ エコアクションの審査結果						
	③ 現場監査							
	エコアクション21の認証取得して10年か	が経過した。						
	今年度取扱量が減少した。これは社会	会情勢の変化によるものだ。						
	今後ペーパーレス化はさらに進み、新聞も購読されなくなるであろう。資源物の取							
	扱量増はさらに困難となる。							
	投入エネルギーに取扱量を除する評価をしている当社では厳しい評価が続くこと							
	が想定されるが、グループー丸となり、取扱量増を目指していく。							
	前回の指示事項であるデマンドのデータ化は思うように進めることができなかっ							
総評	た。来期は担当者を明確にし、枠組みを早急に作る事。							
	現場監査の内容の見直しを行った。より簡略化したことで必要事項と点数が明瞭							
	となった。これにより各事業所がそれぞれ一丸となって上位ランキングを目指し切							
	磋琢磨する雰囲気が生まれた。							
	公共スペースの清掃など組織が環境!	に関連するボランティア活動を推進すること						
	も目標となる。							
	社員の社外環境ボランティア活動への)参加の支援や、環境活動を行っている団						
	体の支援なども今後は取り組んでいき	きたい。						
	環境方針	□必要 ☑不必要						
 変更の必要性の判断 	環境目標	□必要 ☑不必要						
	その他計画	□必要 ☑不必要						
環境管理責任者への指示事	 [項							

- ■デマンドの周知・活用 ■周辺の環境活動への参加

代表者による全体の評価と見直し(有限会社大興資源)

見直し実施日	2019年2月15日	見直し者 代表取締役 猪又富美男						
収集した資料	① 2017年度環境活動レポート							
	① 環境目標	④ エコアクションの審査結果						
評価内容	② 環境への負荷の把握	⑤ 前回の指示事項の対応状況						
	③ 活動計画・取組							
	処理量が昨年より大幅に増加した。そ	のため取扱量1トン当たりの二酸化炭						
	素排出量が減少し、より良い成果がみ	られた。						
	エコドライブ、分別、省エネなどあらゆる取り組みが定着してきて環境活動計							
40 ET	画も行き詰まり、限界を感じるようになってきたのではないだろうか。							
総評	エコアクション21を認証取得してから10年以上が経過しモチベーションの維持							
	が負担にならないようにしなければならない。							
	直接的に環境負荷を低減することばかりに気を取られず、社会全体の環境負							
	荷を低減させるために自社でできるこ	と、自社がどのように貢献できるかと発						
	想を転換していく必要がある。							
	顧客に対しても働きかけは必要で、環	境情報を提供したり改善のための提案						
	も一つである。そしてこれは長期的な	目標にもなりうる。						
	自社の働きかけが社会全体の環境負	荷低減につながることを理解しておくこ						
	ک 。							
	環境方針	□必要 ☑不必要						
変更の必要性の判断	環境目標	□必要 ☑不必要						
	その他計画	□必要 ☑不必要						

環境管理責任者への指示事項

- ■処理量増のための高い営業力
- ■事務局と社員との情報の相互発進
- ■対社外に向けての環境負荷低減につながる働きかけ